



全国大会への出場が決定した松永さん

4/23 空手道の全国大会で優勝目指す  
第37回県空手道選手権大会3位入賞

蒲池小3年の松永彩希<sup>あやの</sup>さんが、4月23日、岡垣町で行われた第37回県空手道選手権大会小学3年生形の部で3位になりました。この結果、8月5、6日に群馬県高崎市で行われる全国大会に出場することが決定しました。松永さんが空手を始めたのは4歳のとき。今は週に3回ほど蒲池中体育館で練習しています。松永さんは、「県大会で3位になれてうれしかった。全国大会では優勝目指して頑張りたい」と意気込みを語りました。

5/2 今後も市民のために精進

中村団長、荒巻分団長が消防庁長官表彰を受章

市消防団の中村明彦団長（高島、69歳）が消防庁長官表彰功労賞を、第8分団の荒巻隆輔<sup>たかすけ</sup>分団長（七ツ家、58歳）が消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章しました。中村さんは昭和51年に市消防団に入団し勤続41年、荒巻さんは昭和62年に入団し勤続30年。5月2日、荒巻さんが代表して金子市長に受章を報告。荒巻さんは、「団員の皆さんのおかげで受章でき、大変名誉なこと。ますます精進して市民のために一生懸命活動していきます」と話しました。



金子市長に受章報告をした荒巻さん（中央）



沖端舟舞台囃子保存会の子どもたちが演奏を披露した

5/3～5 水難事故防止や無病息災を祈願  
沖端水天宮祭

5月3日から5日まで、沖端水天宮祭が開かれました。この祭りは、水難事故防止や無病息災などを祈願して毎年行われるもの。期間中は、水天宮横の掘割に浮かべた舟舞台「三神丸」で、舟舞台囃子<sup>ふねうたい</sup>や芝居が奉納。舟舞台囃子は、太鼓や三味線、横笛を使い、古典的な囃子に異国情緒豊かなオランダ風の調子が交じり合った「オランダ囃子」とも呼ばれ、沖端舟舞台囃子保存会の子どもたちの演奏が、祭りを盛り上げていました。



電車で訪れる観光客にポンポンを振って歓迎

5/5 心を込めて観光客をお出迎え  
第6回おもてなしの心大作戦

西鉄電車に乗って柳川を訪れる観光客をもてなそうと5月5日、西鉄柳川駅周辺で、「第6回おもてなしの心大作戦」が行われました。同駅が、観光の良い思い出になるようにと企画。市や婦人会など19団体、約330人が参加し、同駅に発着する電車に向かって手やポンポンなどを振って歓迎しました。また、西口駅前の広場では、柳川高校の吹奏楽部やダンス部が、演奏やダンスを披露。様々なパフォーマンスで観光客をもてなしました。

5/9 歴史や文学が息づく城下町  
「もっと城内を知ろう！」で史跡巡り

城内公民館の平成29年度成人学級初の講座、歩いて史跡を巡る「もっと城内を知ろう！」が5月9日、開催されました。当日はあいにくの雨でしたが、22人の参加者があり、木村緑平の屋敷や柳川城址などを巡りました。

講師の説明によると、木村緑平は、長崎医学専門学校を卒業し医院を開業。その後、大牟田や田川で炭鉱医として勤務する傍ら、俳句を詠み、俳人の種田山頭火<sup>さんとうが</sup>を物心両面で支えました。

また、柳城中学校隣の柳川城址であるへそくり山には、パネルで再現された「柳川城天守閣」が展示されていました。柳川城は、文亀年間、蒲池氏によって築かれましたが、明治5年に焼失。今は石垣や堀などが残っています。その他にも、日吉神社や曾我祐準屋敷跡などを巡り、参加者は、史跡の資料を見ながら、旅人のような気分で、講師の説明を聞いていました。参加者の松藤邦江さんは、「何度も訪れた場所ですが、柳川の良さをあらためて感じました」と感想を語りました。

【取材を終えて】緑鮮やかな季節で、いつも見る景色が、さらに美しく見えました。柳川城は、再現された方たちの思いが伝わってきて、歴史を振り返る事の大切さを感じました。



▲「日吉神社」で説明を聞く参加者  
◀市民の協力でへそくり山によみがえった「柳川城」  
▼木村緑平の屋敷



(取材：市民レポーター原田由美子)



受賞を報告した沖校長（右）と佐田司書（中央）、松添司書教諭（左）

5/10 クラスに合った読書活動が評価  
藤吉小学校が文部科学大臣賞受賞

平成29年度子供の読書活動優秀実践校として、藤吉小学校が文部科学大臣賞を受賞しました。同校の地域と連携したボランティアによる読み聞かせや子どもたちが自分たちの目線で取り組む読書活動などが評価されたもの。5月10日、同校の沖毅校長と佐田牧子図書司書、松添浩子司書教諭が三橋庁舎を訪れ、日高教育長に受賞を報告。沖校長は、「今後も読書活動を継続させながら発展させていきたい」と話しました。

5/12 子どもたちに食と農の大切さを  
JA柳川が小学校に補助教材を寄贈

JA柳川の田中昭夫常務理事らが、5月12日、市役所三橋庁舎を訪れ、JAバンクが作成した社会科の補助教材「農業とわたしたちの暮らし」680冊とDVD19枚などを寄贈しました。補助教材は、小学5年生の社会科の授業を中心に、学校によっては、地産地消の食育教育にも活用。農業に対する見方、考え方を高めるとともに、農業の後継者の育成につながることも期待されます。



日高教育長に教材を寄贈するJA柳川の田中常務（右）